

脆弱な Cisco Security Agent 拡大に特権を与えるため

severity アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-2005-1129-csa](#)
初公開日 : 2005-11-29 16:00 [2005-3886](#)
バージョン 1.0 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Security Agent (CSA) はサーバおよびデスクトップ計算機システムに脅威 保護を提供する security software エージェントです。 CSA エージェントは Cisco Security Agent のための CiscoWorks VM 管理センターによって管理することができたりまたは IP コミュニケーション アプリケーションサーバを on Cisco 実行するスタンドアロン エージェントである場合もあります。 Cisco IP コミュニケーション アプリケーションサーバのためのスタンドアロン エージェントは IP コミュニケーション アプリケーションサーバで手動でインストールする必要があります。

ローカルで実行されたソフトウェアによって特権 拡大を可能にすることができる CSA エージェントで存在 する脆弱性通常のユーザーが攻撃者に Windows ワークステーションまたはサーバーで実行管理されるか、またはスタンドアロン CSA 4.5.0 か 4.5.1 エージェントでローカル システム レベル特権を与えます。

シスコでは、該当するお客様用に、この脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20051129-csa> で掲示されます

該当製品

修正済みソフトウェア

動作するとき Cisco Security Agent のための CiscoWorks VM 管理センターによって管理され

る CSA 4.5.0 および 4.5.1 エージェントおよび on Cisco IP コミュニケーション アプリケーションサーバを実行するスタンドアロン エージェントは影響を受けています:

- Microsoft ウィンドウ プラットフォームを含む:
 - Windows 2003
 - Windows 2000 サーバおよび新型サーバ
 - Windows NT v4.0 サーバおよびエンタープライズ サーバ (SP 6a)
 - Windows NT 4 ワークステーション (SP 6a)
 - Windows 2000 専門家
 - Windows XP 専門家
- Microsoft ウィンドウで動作している間 Cisco CSA 4.5.0 (すべてのビルド) 管理されたスタンドアロン エージェント
- Microsoft ウィンドウで動作している間 Cisco CSA 4.5.1 (すべてのビルド) 管理されたスタンドアロン エージェント
- CallManagerのバージョン 4.5.1 ビルド 628 および 4.5.0 ビルド 573 のための Cisco CSA。
注: これらのバージョンは CallManager、Cisco Conference Connection (CCC)、Emergency Responder、Cisco Unified Contact Center Express、IP (IP IVR)、および IP Queue Manager によって音声自動応答 (IVR) バージョン 1.0 使用されます
- Intelligent Contact Management (ICM)、Cisco Unified Contact Center Enterprise および Cisco Unified Contact Center Hosted バージョン 4.5.1 のための Cisco CSA ビルド 616
- Cisco 音声ポータル (CVP) のための Cisco CSA 3.0 および 3.1 バージョン 4.5.0 ビルド 573。
注: このバージョンは CVP 3.0 および 3.1 および CVP VXML サーバによって使用されます

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

以下の製品は確認された脆弱です:

- Cisco CSA 4.0.3 (すべてのビルド) およびそれ以前管理されたスタンドアロン エージェント
- Cisco CSA 4.0.2 (すべてのビルド) およびそれ以前管理されたスタンドアロン エージェント
- Cisco CSA 4.0.1 (すべてのビルド) およびそれ以前管理されたスタンドアロン エージェント
- Cisco CSA 3.x バージョン
- Okena Stormwatch 3.x バージョン
- Solaris で動作する Cisco CSA エージェント
- Linux で動作する Cisco CSA エージェント

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

CSA クライアントバージョンの判別

CSA のどのバージョンがクライアントマシンで動作しているか判別することは Windows タスクバーの CSA アイコンを、「右クリックします」。「**について**を選択するポップアップメニュー...」 「Cisco Security Agent V4.5 ビルド 565." と同じようなテキストが含まれているポップアップウィンドウのエージェントのバージョン番号を表示する

マネジメントコンソールが付いている CSA クライアントバージョンの判別

また CiscoWorksサーバの Cisco Security Agent のためのマネジメントコンソールを使用して CSA バージョンを判別できます。次の手順を実行します。

1. ログインの:
`http://ciscoworks-hostname:1741/`
2. > **Security エージェント**を VPN/Security Management Solution > Management Center の順に選択し、次に **Security Agent** タブをクリックして下さい。
これは起動させます「Cisco Security Agent のための管理センターを」。
3. ブラウザウィンドウの中では、見つけて下さいセンターによってマークされる「ヘルプでタブを」。
4. クリックして下さい「約分類されるサブ項目を」。Cisco Security Agent のバージョンはに類似したテキストが含まれているポップアップウィンドウに現われます:
Cisco Security Agent V4.5-1 ビルド 616 のための管理センター。

注: Cisco Security Agent のためのバージョン 4.5-X (あらゆるビルド) 管理センターの CSA 4.5.X エージェントしか管理なできます。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2005-November-29	初版リリース
--------------	------------------	------------------------

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。